

いのちとくらしを守ろう 今、力をあわせて

「新型コロナ」緊急事態宣言 感染拡大で



普段のにぎわいが天神橋筋商店街と中之島公園（4月7日）



4月7日夜、安倍首相は新型コロナウイルス感染が拡大する中、特別措置法に基づく緊急事態宣言を出しました。東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県が対象。期間は1か月、5月6日まで。

今年3月に成立した改正新型インフルエンザ等対策特別措置法で発令可能となった「緊急事態宣言」は、「国民の生命や健康に著しく重大な被害を与えるおそれ」「全国的かつ急速な蔓延により国民生活や経済に甚大な影響を及ぼすおそれ」という二つの要件を満たすと政府が判断した場合に発令されます。

医療崩壊をまねかないために、感染拡大を防止する全国民の協力が求められています。そして、すべての自治体職場で感染症に対応する職員の安全が守られてこそ、住民のいのちとくらしを守ることができます。立場をこえて、力をあわせましょう。（2・3面に関連記事）

住民と自分のためにいい仕事をしよう

今日から自治体職員としてスタートです。「住民福祉の向上」が私たちの仕事。住民のため、自分のため、いい仕事がしたい。そんな気持ちを大切に。新しい仲間を多くの職場で迎えましょう。

（写真は、4月1日の大阪市保育士の辞令交付会場前宣伝）



大阪自治労連現業評議会 議長 尾坂 利江さん

（門真市職労 学校給食調理員）



自治労連現業評定期大会であいさつ
（2019年8月24日・東京）

大阪自治労連現業評議会では、初の女性議長の尾坂さん。職場では相談役、地域では子ども食堂にかかわるなど幅広く活躍しています。女性議長としての思い、仕事や地域に対する思いを聞きました。

まさか自分が議長になるなんて

はじめ、現評の議長なんて寝耳に水でしたが、職員が減り役員も少なくなり、引き受けざるを得なくなり、まわりの方に助けられ何とか2年目に突入しています。議長になると色々な場所に行き、大阪の実情を短くまとめて報告しないとイケないので、できるだけ具体的に伝えることを心がけています。

今年、自分の勤める学校給食が民間に委託されました。残すことなくよく食べてくれていた学校だったのですが、とても残念ですし、環境整備や調理の仕方も引き継ぎがされているのか心配です。

この仕事を生かせる「子ども食堂」

以前から仕事を生かして、市民・地域の役に立ちたいと思っていました。そんな時、退職した先輩から「子ども食堂の取り組みに参加しないか」と声をかけられ、給食部会として何人かの調理員さんと作り手として関わらせてもらっています。浸透するまでなかなか

うにと労働安全衛生に力を入れ、衛生管理者も1級の資格も取得し、まだまだ完全ではありませんが、せんが職場巡視を充実させる等、いろいろな職場改善に取り組んできました。今後がらんばって、正規職員採用をめざしていきたいです。



子どもたちに人気の揚げパンは、つぶれないように縦に並べて配膳しています

かでしたが、今では学校の協力もあり、たくさん食べに来てくれて、遊びコーナーや読み聞かせ等もあり、好評です。

給食をつくっている時が一番しあわせ

子どもたちがおいしく食べてくれているか気になる場所ですが、やはり安心・安全が一番なので、仲間を支えられながら、日々精進しています。学校行事や試食会にも積極的に参加させてもらい、直接話を聞く

ことを大事にしています。門真でも「新型コロナウイルス」の影響で、学校給食は3月2日からストップしています。以前、校長先生から「夏休み明けに痩せて登校してくる子どもがいるのよ」と聞いていたの、きちんと食事が取れているのか栄養が偏っていないか心配です。

3月は、調理室はもとより体育館や校内清掃、児童のエプロンの仕分け、ボスティング、登校児童たちの見守り、外遊びでドッジボール等をして楽しいこともありませんが、やはり給食を早くつくりたいです。ついている時はあれこれ考えることなく、それだけに集中できるので一番幸せを感じます。異動先の学校はアレルギー除去食も多く大変ですが、一日も早く子どもたちに食べてほしいです。